

オンキヨーがご提案する“ひとつ上のホームエンターテイメント”とは ～2021年度新製品 AVレシーバーのご紹介 ② HDMI 2.1 について～

オンキヨーホームエンターテイメント株式会社（所在地：大阪府東大阪市、代表取締役社長：大舘 宗徳）は、2021年1月29日に「当社グループのご紹介」において、『ひとつ上の“ホームエンターテイメント”のご提案』を事業の方向性としております。この事業の主力であるホームシアターシステムは、映画館やコンサートホールでの感動をご自宅でも楽しんでいただける製品であり、弊社は、今年1月に米国にて開催されたCESにおいて、ホームシアターシステムの中核機器であるAVレシーバーの2021年度新製品を発表しました。今後、数回に分けて、AVレシーバー新製品の魅力、特徴についてご紹介いたします。

2回目は、新機能「HDMI 2.1」についてです。

■映像作品におけるAVレシーバーの重要性

当社は東京秋葉原のショールームにて、AVレシーバーとスピーカーを使った、サカナクションの新発売のライブBlu-ray「SAKANAQUARIUM 2019“834.194”」の体験イベント、またラグビーW杯応援イベントでは視聴&応援ブースを開催してきました。多くのサカナクションファンや、スポーツファンにご来場いただき、オンキヨーの「音」の臨場感で、感動と興奮を体験して頂きました。

オンキヨーショールームでの AVレシーバー体験会模様

「サカナクション」
新発売ライブBlu-ray視聴イベント



「ラグビーW杯」
視聴&応援イベント



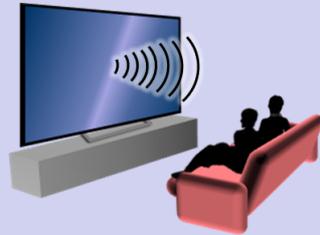
オンキヨーの「音」の臨場感で、感動と興奮を体験して頂きました。

このように映像作品を楽しむ際に、AVレシーバーは最高のエンターテイメント環境を実現させます。映画館やライブコンサートでは、言うまでも無く、「音」がその感動を伝えてくれます。「音」を身体で感じる臨場感を余すことなく提供すること、それがオンキヨー製品に込められた想いです。

オンキヨーの想い

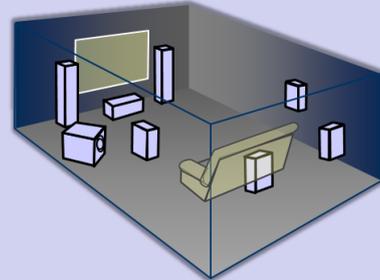
「映像」を重視

大画面・高精細TV“のみ”で楽しむ



「映像」と「音」を重視

大画面TV・高精細TVと、当社のホームシアター商品と組み合わせる



映像をいくら大画面・高精細にしても
製作者の意図や感動は半分しか伝わらない

**「音」を身体全体で感じて頂き
お客様に驚きと感動の体験を**

昨今、ビデオ機器は、Blu-rayのプレーヤーやレコーダー、ケーブルテレビのセットトップボックス、ビデオストリーミングを受信するAmazonのFire TV Stickなど、様々な機器が存在します。さらに最近ではSONYのPlayStationやMicrosoftのXbox、Nintendo Switchなどのゲーム機器もたくさんあります。これらビデオ機器とゲーム機器全てをAVレシーバーに接続する事で、映像制作者、ゲーム製作者が作成した「映像」と「音」を余すことなく楽しむことが可能になります。



■ 当社 2021 年 AV レシーバー搭載の HDMI 新規格「HDMI 2.1」で楽しめることは？

現在 AV レシーバーは、ビデオ機器、そしてテレビの接続と 1 本の HDMI ケーブルを使用し、その高速伝送によって、最新の画質映像や、サカナクション等 LIVE Blu-ray 作品で採用されている Dolby Atmos などの最新音声フォーマットを楽しむことができます。

以下、2021 年当社 AV レシーバー新製品が対応しました、HDMI 新規格「HDMI 2.1」の特徴になります。

1. 超高画質映像「8K」への対応

HDMI 2.1 への大きな進化点は、「8K」への対応です。8Kはハイビジョン（1920X1080）の縦横4倍の計16倍、また4Kからも4倍の解像度となり、生の映像に限りなく近い映像を再現し、その場にいるような臨場感をもたらす究極の映像フォーマットです。

さらに HDMI 2.1 は 8K の「解像度」だけでなく、色のきめ細やかさを決める「ビット深度」、1秒間の動画のコマ数「フレームレート」、使える色の範囲を示す「色域」、そして映像の明暗の幅の広がり示す「輝度」、これらが最大スペックとなります。したがって、より現実に近い 8K ならではの豊かな映像を体験することができます。現在、既に NHK にて 8K 映像コンテンツの放送が開始されており、今後 8K の映像ソースが益々増えていくことが予想されます。

当社の 2021 年 AV レシーバー新製品には、「8K」対応の入出力端子が多く搭載されております。たくさんの方々が、当社 AV レシーバーを利用して、この「8K」の新しい「映像」と「音」で、新たな感動と幸せな時間を過ごして頂ければと考えております。

PRESS RELEASE

オンキヨー製AVレシーバー「HDMI 2.1」で楽しめる事

超高画質映像「8K」への対応

高品位な映像のための5つの要素

- 解像度 (映像のきめ細やかさ) → 8K
- ビット深度 (色・グラデーションのきめ細やかさ) → 12bit
- 輝度 (映像の明暗) → HDR Dynamic HDR
- 色域 (色合いの再現) → BT.2020
- フレームレート (動きの滑らかさ) → 60p/120p

➔

より現実に近い8Kならではの豊かな映像を体験

2021年AVレシーバー新製品は、多くの入出力端子が超高画質映像「8K」に対応

全ての端子が「8K」対応のオンキヨー TX-RZ50

3入力2出力端子が「8K」対応のオンキヨー TX-NR6100

2. 最新ゲーム機との「HDMI 2.1」接続

2020年の年末に「HDMI 2.1」対応のゲームが Sony の PlayStation や Microsoft の Xbox と発売されました。これら「HDMI 2.1」対応機器と、もちろん 8K や 4K の画質や、最新音声フォーマットを楽しめますが、ゲームプレイ時には映像の低遅延モードへ自動的に切り換えてくれる ALLM (Auto Low Latency Mode)、映像の切り替えをなめらかに表示する VRR (Variable Refresh Rate)、映像表示の遅延を軽減する QFT (Quick Frame Transport) と呼ばれる機能が新たに追加されます。

さらにオンキヨーが提供する GOOD、BETTER、BEST の音で、ストレスなくさらに没入してゲームを楽しめる環境が整ってきました。

オンキヨー版 ホームシアター ステップアップ計画



最新映像規格に
見合う「音」で
お客様に驚きと感動の体験を。



- 11ch対応 AVレシーバー
- サブウーハー
- サラウンドスピーカー
- イネーブルドスピーカー(2組)

- フロントスピーカー (フロアタイプ)
- センタースピーカー
- フロントスピーカー (ブックシェルフタイプ) をサラウンドスピーカーに使用

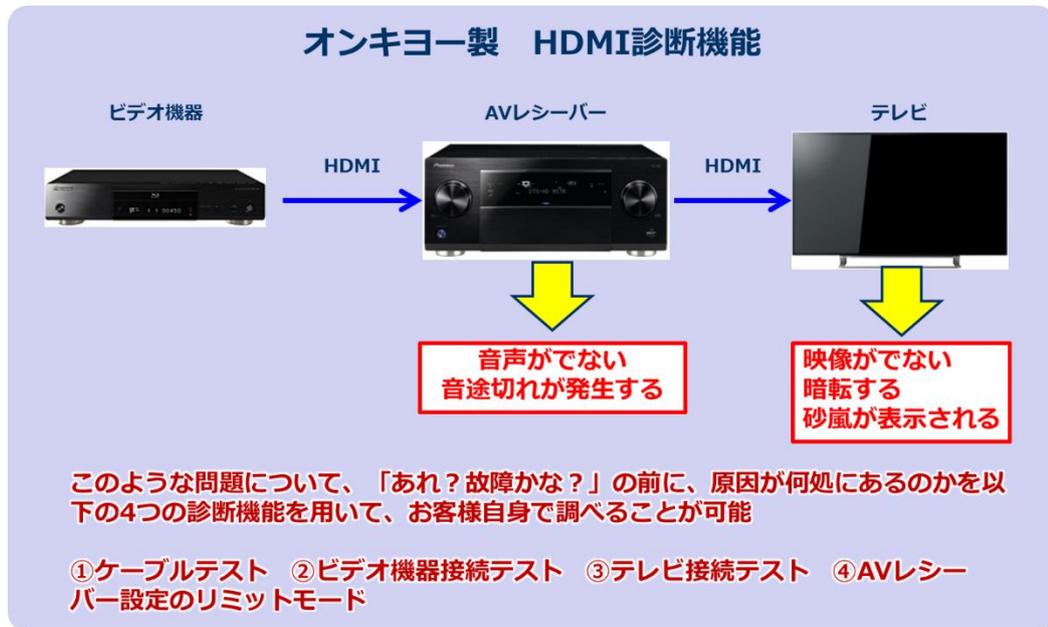
- AVレシーバー
- サブウーハー
- フロントスピーカー (ブックシェルフタイプ)

■ HDMI 2.1 に関わる当社 AV レシーバー独自新機能

当社は、AV レシーバーを中心としたホームシアター商品に HDMI を搭載すると共に、常に最新の仕様をいち早く採用してまいりました。また、パイオニア独自の開発で培われたプラズマテレビ・DVD・Blu-ray プレーヤーの映像処理の技術ノウハウは当社の関連製品にも活かされています。当社は、映画のみならず、音楽、ゲームといった家庭でのエンターテインメントを最高の状態で楽しんでいただくため、2021 年 AV レシーバーでは、「HDMI 2.1」のフル対応を行い、さらに細部にまでこだわった以下新機能も搭載しております。なお当社新製品 AV レシーバーでは一部報道がありました HDMI 2.1 での接続の不具合は対応済みです。

・HDMI 診断機能 (HDMI Diagnostics)

HDMI 2.1 は伝送速度が速くなりますので、既存の HDMI ケーブルなどの原因で映像が映らなくなる可能性があります。その場合に、原因を①HDMI ケーブル、②ビデオ機器との接続、③テレビとの接続、④AV レシーバーの設定に分けて診断を行います。この診断機能により、機器をセットアップした際に、映像や音声が出なかったときに、「あれ？故障かな？」の前に、まずは原因を特定しやすく、どの部分を直せば良いかが、すぐにわかります。



・A/V シンク (オンキヨー/インテグラモデル)、サウンドディレイ (パイオニアモデル)

HDMI 2.1 には、最新ゲーム機に有効な ALLM(Auto Low Latency Mode) 機能があり、映像を最速で表示するモードが用意されます。当社 AV レシーバーでは、独自機能によりこの ALLM 時に映像の速度に合わせて音声出力の遅延を限りなく少なくし、映像と音声のタイミングにずれが生じないようにしています。さらに A/V シンク或いはサウンドディレイという機能で、映像と音声のタイミングを正確に合わせる事が可能です。

A/V シンク (オンキヨー/インテグラモデル)、サウンドディレイ (パイオニアモデル)

独自機能によりこのALLM時に映像の速度に合わせて音声出力の遅延を限りなく少なくし、映像と音声のタイミングにずれが生じないようにしています。



・4K/8K 信号フォーマット設定機能

HDMI 2.1 では 4K や 8K の高画質映像の伝送速度がとても速くなるため、HDMI 2.1 対応では無い HDMI ケーブルでは、映像と音声正常に出力されない場合があります。

当社 AV レシーバーの独自機能「4K/8K 信号フォーマット設定機能」では、各入力にて伝送可能な信号フォーマットを設定することで、伝送速度を調整することができ、現在お使いの HDMI ケーブルでも再生が出来ます。

なお、HDMI 2.1 の高画質映像を楽しむためには、HDMI 2.1 対応のケーブルの使用をおすすめします。



当社としてはコロナ禍、またアフターコロナにおけるご家庭での最高エンターテインメントを提供していくことを目指し映画を楽しむ「ホームシアター」のみならず、音楽やゲームも含めた「ホームエンターテインメント」を構築することで当社の経営理念である「Value Creation」の実現をめざしております。

【関連リンク】

- 当社グループのご紹介について
https://onkyo.com/ir/ir_news/date/2020/20210129_JQIR_gaiyousetsumei_OHE.pdf
- オンキョーがご提案する“ひとつ上のホームエンターテインメント”とは ～2021 年度新製品 AV レシーバーのご紹介①音場について～
https://onkyo.com/news/images/20210208_PR_Dirac_Live.pdf

- * 「Pioneer」および「Pioneer」ロゴはパイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- * Apple、Apple ロゴ、Apple TV、は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- * Amazon、Kindle および Kindle Fire は Amazon.com, Inc. またはその関連会社の登録商標です。
- * Xbox、Xbox One、Kinect は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- * 「PlayStation」「プレイステーション」「PS4」「PS3」および「PSP」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。また、「プレイステーション 3」「プレイステーション 4」「PSP®」「プレイステーション・ポータブル」「PSP®」「プレイステーション・ポータブル」go」および「PlayStation Vita」は同社の商品です。
- * ©2021 Nintendo
Nintendo Switch、ニンテンドー3DS、Wii U は、任天堂の商標です。
- * HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- * Netflix は、Netflix, Inc.の登録商標です。
- * 「U-NEXT」と U-NEXT ロゴは株式会社 U-NEXT の商標または登録商標です。
- * その他文中の商品名、技術名、機能マークおよび会社名等は、当社や各社の商標または登録商標です。